



16 平和と公正を  
すべての人に



目標16  
平和と公正をすべてのひとに

平和の確保と、すべての人を守る法律や政治の仕組みを整える必要性を考える。

今回は、沖縄戦を通し「平和」にスポットを当て、恩納村の学校で行われている平和学習活動の一部を紹介します。

恩納小学校6年生が平和学習として、全国をオンラインでリレーして取り組まれている『沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集い』に参加し、恩納校区の方々180名の名前を呼名しました。追悼の気持ちを込め呼名することで、改めて平和を考える機会となりました。

その他、村内各学校でも慰霊の日に向け、フィールドワークや講演会など様々な平和学習が実施されています。

6/7(水)



沖縄「平和の礎」名前を読み上げる集い



公式HP



平和学習で感じたことは？

思っていた以上に、呼名をする人が多くて、戦争ではこんなに多くの方々が無くなったのだと知り、改めて戦争の怖さを感じました。もう二度と、戦争は起こしたくないと思いました。

平和を実現するには？

一人ひとりがみんなのために、みんながひとりのために行動ができれば、それぞれがお互いのことを考え、平和な世界になると思います。

ゆめか  
当真 夢叶 さん



平和学習で感じたことは？

呼名の中にクラスの親戚がいたり、戦争の怖さを知り、私は絶対戦争を経験したくないし、他の人も悲しい思いをしてほしくないと思いました。

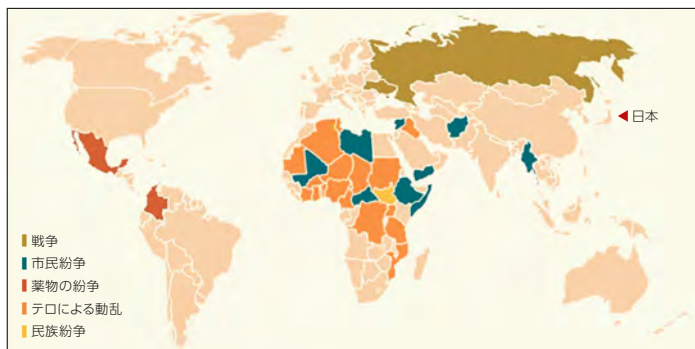
平和を実現するには？

自分が相手のことを考えて、行動や発言をすれば喧嘩も起こりません。それが国だとしても同じだと思います。

まひる  
新井 愛陽 さん



世界ではどうなってる？  
『世界の紛争地域図(2023年現在)』



現在紛争状態にある国は全体で32か国あり、ウクライナ戦争のように国家間の戦争もあれば、民族紛争、麻薬戦争など様々な紛争の種類や原因があり、期間も多岐にわたります。

出典: Wisevot[Countries Currently at War]  
<https://wisevoter.com/country-rankings/countries-currently-at-war/>



平和を目指すために、  
私たちに今できることは？

ポイント① 公正で平和な社会を求めて世界、  
日本の問題を『知る』こと！

- 沖縄戦を通し、戦争の悲惨さや社会情勢を知る。
- 本を読んで世界の問題を知る。
- ニュースを見て、世界でおきている問題を知る。

ポイント② 公正な社会を目指すことも必要！

暴力や暴力による死亡率を減らし、子どもに対する虐待、搾取、人身取引を撲滅することなどを目指します。また差別やテロリズム、犯罪や汚職を大幅に減少させ、あらゆるレベルにおいて有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させることも大切な目標です。

お問い合わせ: 恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com